

Ⅱ 協議事項

1 各学校運営協議会の「教育環境を生かした取組」への対応

学校名	取組事項	広尾っ子応援団本部の対応
広尾小	- 各教科の授業で、地元の施設を積極的に活用する。 ⇒商店や工場の見学、図書館や博物館などの施設の見学や利用体験 - 地元で獲れる魚について、より詳しく学習する。 ⇒漁業にかかわる専門家や関係機関の活用 - 地元の酪農業について、より詳しく学習する。 ⇒地域に出て、体験的活動を積極的に行う - 体験的な防災教育を推進する。 ⇒津波想定避難訓練、避難所生活にかかわる用具づくり体験など	- 学校の要望への対応 - 関係機関との支援にかかわる連絡、調整 - 必要に応じ応援団会員の協力要請
豊似小	*総合的な学習の時間を中心に、地域資源や環境を活用する。 - 地元の特産物を知り、食についての学びを深める。 - 地域の人材から、まちづくりについての話を聞き、将来のまちについての学びを深める。 - 地域の施設や場所を見学し、体験的な学びを通して、地域の特徴やよさを理解する。 *参観日や学校行事などを通して、地域の人に子どもたちの様子を見てもらうとともに、地域との交流を深める。	- 学校の要望への対応 - 関係機関との支援にかかわる連絡、調整 - 必要に応じ応援団会員の協力要請
広尾中	◎地域の教育環境を活用し、特に、総合的な学習の時間の学びを充実させる。 - 町の産業、観光、自然、歴史などについて、地域の関係者から教えてもらい生徒自らが、まちづくりにかかわるイベントなどの提案をする。 - 様々な職業があることを知るために、地元の企業を調べたり、実際に仕事を体験したりする。 - 町の施設や場所を積極的に活用して、そこでの体験的活動を通して学習を深める。	- 学校の要望への対応 - 関係機関との支援にかかわる連絡、調整 - 必要に応じ応援団会員の協力要請

2 学校の支援要望への対応

- ① 教育活動の実施に向けて必要な連絡・調整を行う。また、応援団本部として協働活動への人材活用を進める。
- ② 重点教育目標に沿った支援に焦点化していく。
- ③ 各学校が総合的な学習の時間で行う「ひろお学」（ふるさと学習）の推進に協力する。

3 広尾っ子応援団登録、応援メッセージ活動の促進

- ① ウェブ掲載、説明会、資料配布等により啓発に努める。
- ② 登録会員への協力を働きかける。
- ③ 家庭教育サポート企業との連携を図る。

4 情報発信

- ① 広尾っ子応援団だより
応援メッセージ、学校運営協議会の内容、重点教育目標を目指す授業、学校支援、放課後活動等について定期的に発信する。
- ② 広尾町公式ウェブサイト
広尾っ子応援団だより、学校運営協議会報告等を掲載する。
- ③ 広報「ひろお」：「CSの窓から」
広尾町のCSの方針や推進内容、関連事項等について掲載する。

5 放課後読書等ふれあい広場

子どもたちが交流活動や体験活動ができる安全・安心な放課後の居場所を提供するとともに、地域住民が広尾っ子応援団の取組や子どもたちの様子について理解を深める機会として実施している放課後読書等ふれあい広場を継続する。

- ・場所：広尾小学校
- ・対象：小学4年生以上
- ・時間：火曜日、木曜日の15：00～16：00（5時間授業の日を除く）
- ・運営：地域コーディネーター（町教委生涯学習コーディネーター）を中心に対応

6 サテライト応援団本部の開設

広尾っ子応援団本部の活動推進や充実に向けて、「サテライト応援団本部」の開設を継続する。

- ・場所：青少年研修センター
- ・内容：応援メッセージや応援団だより、学校支援活動等の掲示と紹介
応援団本部の活動の場として 他